



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 伊豆シャボテンリゾート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6819 URL http://www.izu-sr.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北本 幸寛
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室室長 (氏名)桑原 亮介 (TEL)03(5464)2380
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,164	4.1	281	20.7	301	—	309	—
28年3月期第3四半期	2,079	7.8	232	328.0	△25	—	△74	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 314百万円(—%) 28年3月期第3四半期 △80百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	10 88	— —
28年3月期第3四半期	△2 63	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,887	1,136	60.2
28年3月期	1,642	829	50.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,136百万円 28年3月期 822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
29年3月期	— —	0 00	— —	— —	— —
29年3月期(予想)	— —	— —	— —	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	4.0	310	1.4	310	448.3	340	1,183.9	11.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	28,496,537株	28年3月期	28,496,537株
29年3月期3Q	20,783株	28年3月期	20,393株
29年3月期3Q	28,476,082株	28年3月期3Q	28,476,513株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得の環境の改善がみられ、緩やかな景気回復の動きが見られますが、個人消費の改善につきましては、弱含みに推移しております。一方、米国大統領選挙の影響などによる急激な円安と株式市場の急伸などもあり、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社が展開するレジャー事業では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、各運営施設の入園者数と売上確保に努めております。エンターテインメント事業では、継続してCM制作受注及びプロモーション受託に努めております。また投資事業では、引き続き過去に投資した債権の回収を図っております。リスクマネジメントの観点から事業ポートフォリオの再構築についても適宜検討しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高21億64百万円（前年同四半期に比べ4.1%増）、営業利益2億81百万円（前年同四半期に比べ20.7%増）、経常利益3億1百万円（前年同四半期は経常損失25百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億9百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失74百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間の概況をセグメント別に申し上げますと次のとおりであります。

(レジャー事業)

伊豆シャボテン動物公園（平成28年10月22日に名称を変更しております。）では、伊豆の冬の風物詩である「元祖カピバラの露天風呂」を開催いたしました。また、人気キャラクターである「カピバラさん」とコラボレーションした「カピバラさんフェスタ」などが開催されました。

伊豆ぐらんぱる公園では、昨年初めて開催し好評だった「グランイルミ」が2ndシーズンを迎え、球数を400万個と倍増した体験型イルミネーションとして、来場頂いたお客様に満喫して頂きました。

入園者数は前年より開催されておりますグランイルミも含めまして1,292千人（前年同四半期に比べ3.9%増）となりました。

この結果、レジャー事業では、売上高21億44百万円（前年同四半期に比べ8.9%増）営業利益2億24百万円（前年同四半期に比べ3.4%増）となりました。

(エンターテインメント事業)

エンターテインメント事業では、CM制作による売上、プロモーション受託や当社が保有するコンテンツの二次使用による著作権収入がありました。

この結果、エンターテインメント事業では、売上高20百万円（前年同四半期に比べ81.9%減）営業損失17百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）となりました。

(投資事業)

投資事業では、過去に投資した投資有価証券の売却や債権回収を図りました。

この結果、投資事業では、売上高0百万円、営業利益70百万円（前年同四半期に比べ28.6%増）となりました。

(その他)

当第3四半期連結会計期間におけるその他事業につきましては、売上高はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億71百万円増加し、6億44百万円となりました。これは主として、現金及び預金が76百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて73百万円増加し、12億43百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が82百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて2億45百万円増加し、18億87百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて46百万円減少し、3億21百万円となりました。これは主として、未払金が66百万円減少したこと等によります。また固定負債は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し、4億29百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて62百万円減少し、7億51百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて3億7百万円増加し、11億36百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の50.1%から60.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に発表しました平成29年3月期通期の連結業績予想につきまして、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度の減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

1 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340,953	417,907
売掛金	48,013	66,420
未収入金	6,131	3,372
商品等	15,652	22,719
繰延税金資産	50,642	56,759
その他	11,606	77,057
流動資産合計	473,000	644,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	690,695	773,578
土地	269,655	269,655
その他	157,522	143,097
有形固定資産合計	1,117,873	1,186,331
無形固定資産		
ソフトウェア	10,231	7,716
無形固定資産合計	10,231	7,716
投資その他の資産		
投資有価証券	8,128	12,459
長期化営業債権	13,024	12,156
破産更生債権等	754	754
その他	33,200	36,809
貸倒引当金	△13,778	△12,911
投資その他の資産合計	41,328	49,268
固定資産合計	1,169,434	1,243,316
資産合計	1,642,434	1,887,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,371	41,069
未払金	213,710	146,750
前受金	42	11,471
預り金	19,120	32,603
未払法人税等	32,966	30,688
賞与引当金	16,814	6,365
その他	46,904	52,632
流動負債合計	367,931	321,580
固定負債		
退職給付に係る負債	128,924	128,069
偶発損失引当金	272,564	272,170
その他	43,938	29,456
固定負債合計	445,427	429,696
負債合計	813,358	751,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,091	100,000
資本剰余金	186,500	425,462
利益剰余金	198,388	624,172
自己株式	△11,918	△11,877
株主資本合計	828,062	1,137,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,813	△1,482
その他の包括利益累計額合計	△5,813	△1,482
新株予約権	6,827	-
純資産合計	829,076	1,136,275
負債純資産合計	1,642,434	1,887,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,079,997	2,164,550
売上原価	794,522	785,119
売上総利益	1,285,474	1,379,430
販売費及び一般管理費	1,052,542	1,098,316
営業利益	232,932	281,114
営業外収益		
受取利息	59	2
受取賃貸料	9,426	15,510
為替差益	34	-
その他	6,093	4,540
営業外収益合計	15,614	20,053
営業外費用		
支払利息	145	67
為替差損	-	32
敷金償却	810	-
偶発損失引当金繰入額	272,695	-
営業外費用合計	273,650	99
経常利益又は経常損失(△)	△25,103	301,067
特別利益		
固定資産売却益	1,488	4,085
新株予約権戻入益	-	7,586
受取保険金	4,814	21,960
債務免除益	1	0
特別利益合計	6,304	33,632
特別損失		
投資有価証券評価損	4,571	-
減損損失	787	-
和解金	20,000	-
その他	-	0
特別損失合計	25,359	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△44,158	334,699
法人税、住民税及び事業税	39,391	31,090
法人税等調整額	△8,639	△6,117
法人税等合計	30,752	24,973
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74,911	309,726
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△74,911	309,726

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74,911	309,726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,111	4,331
その他の包括利益合計	△5,111	4,331
四半期包括利益	△80,022	314,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80,022	314,057
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動が認められます。

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	455,091	186,500	198,388	△11,918	828,062
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
資本金の取崩	△355,091	355,091	—	—	—
その他資本剰余金からその他利益剰余金へ振替	—	△116,057	116,057	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	—	—	309,726	—	309,726
自己株式の取得	—	—	—	△40	△40
自己株式の処分	—	△71	—	81	9
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計	△355,091	238,962	425,784	40	309,695
当第3四半期連結会計期間末残高	100,000	425,462	624,172	△11,877	1,137,758

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,968,783	111,199	—	2,079,982	14	2,079,997	—	2,079,997
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	73	1,872	90,900	92,846	27,000	119,846	△119,846	—
計	1,968,857	113,071	90,900	2,172,829	27,014	2,199,843	△119,846	2,079,997
セグメント利益又は 損失(△)	217,266	△20,729	54,463	250,999	△18,067	232,932	—	232,932

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。
 2. 売上高の調整額△119,846千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計			
減損損失	—	577	—	577	209	—	787

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,144,469	20,077	3	2,164,550	—	2,164,550	—	2,164,550
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,262	8,779	96,900	106,941	27,000	133,941	△133,941	—
計	2,145,731	28,856	96,903	2,271,491	27,000	2,298,491	△133,941	2,164,550
セグメント利益又は 損失(△)	224,705	△17,209	70,024	277,520	3,594	281,114	—	281,114

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。
 2. 売上高の調整額△133,941千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社連結子会社における訴訟の和解の合意について

当社の連結子会社である株式会社伊豆シャボテン公園（以下「ISP社」という）は、平成29年1月18日に、静岡地方裁判所沼津支部より、ISP社の保有不動産（以下「対象不動産」という）に対する競売開始決定の通知を受けました。今回の競売開始決定通知の対象不動産はISP社が保有する伊豆シャボテン動物公園等の土地・建物であります。

本競売開始決定通知は、平成28年5月12日「当社子会社における和解内容に関する新たな合意に関するお知らせ」にて開示した、株式会社ケプラムとの間で締結した新たな合意書に記載された合意内容に基づくものであります。

なお、当社グループは、当該発生可能性を考慮し、第41期第2四半期連結会計期間におきまして、ISP社保有の土地・建物に対して、偶発損失引当金を計上いたしております。